



専用電車から下車する女高生

近鉄 山本駅には八尾高等女学校の生徒専用電車が走っていた。



山本女子高の集団登校風景



上之島地藏尊

玉串側の河川敷で土の中から「掘ってくれ」という声があったので掘ってみると石仏が出てきたという。それを中正寺にあずかってもらっていたが、今は上之島の人々がお堂を建てておまつりしている。



三野郷小学校分教場跡

明治20年、中正禅寺に上之島尋常小学校が開校された。その後、大正14年から昭和30年までは三野郷尋常高等小学校分教場となり、1、2年生が通っていた。



龍樹菩薩

龍樹菩薩は伊勢湾台風（昭和34年9月）で罹災した橋の架け替えて川をさらえた時に掘り起こされた。



八尾山本北郵便局

昭和37年開局時。前の道から八尾方面を望む。（写真下）



中野池

堤町には、中野池と呼ばれる農業用溜池があり、周辺の田畑に水を供給していたが、田畑の減少にともない、昭和45年に埋め立てられた。



玉串川の桜並木

玉串川は江戸時代1704年に大和川の付け替えにより今のようになり細い川になった。昭和30年代、周辺の町会の人々が協力して桜の苗木を植えた。4kmにわたる並木は1386本の木々が植えられており、ソメイヨシノは970本（全体の70%）。この山本地区（約1.3km）には306本ある。みごとな桜並木は「大阪みどりの百選」や「疎水30選」にも選ばれている。



府立八尾高等女学校

昭和2年3月、大阪市天王寺区に府立第13高等学校女学校として開校。昭和2年9月、中河内郡八尾町に移転。



山本高女と山本小学校の間の道、東方向を見る。



董橋（すみればし）

八尾高等女学校（現山本高校）が建った昭和の初めごろ、この辺りはスミレが一面に咲いていて、校門前に作られた橋を「董橋」と名づけられた。今はその南隣の橋が「すみれ橋」となっている。



御野縣主神社（みのあがたぬしじんじや）

神社のご神体は古代河内の三野縣（みのあがた）の豪族である、三野縣主の祖神を祭っている。境内は起伏のある地形で、これは旧大和川の堤防が残っているためである。ご神木をはじめ多くの巨木がこの鎮守の森の景観を支え、八尾市の保全樹林に指定されている。



親井戸

上水道が整備される以前、天井川となった玉串川の湧き水を簡易水道として利用した。上之島の人々が「親井戸」を設け、「引井戸」といってどび（土管のようなもの）で各家に配水された。



八尾高等女学校 同窓会館

初代同窓会館の落慶は昭和16年。長谷の料亭を移築したもので、吉野櫓材でできている。

まちの宝探しにでかけよう！

八尾再発見の小さな旅 ～山本小学校区篇～



山本停留場（現・河内山本駅）

「山本」という地名の由来

宝永元年（1704年）大和川付替え工事が行なわれた後、旧河川の玉串川河川敷の新田開発を、山中善太夫及びその子庄兵衛正永と本山弥右衛門が請負った。両家の頭名字を取って「山本新田」と名付け、加賀屋本山弥右衛門が地主となった。明治36年（1903）八尾の町制が施行された時、「山本新田」は「大字山本」となった。

平成20年度（2008年）「まちの宝探しにでかけよう」のマップ作りに参加したメンバーにより、山本小学校区をワイワイ楽しく歩いて作成したマップです。

このマップを手に持って、今と昔を想いくらべて散策してみて下さい。

何か新しい発見があるかも？！

（他に資料をお持ちの方はお知らせ下さい。）

◆◆参加メンバー（あいうえお順）◆◆

内野 和也・加地 加代子・北村 茂章・小西 英己
土本 晶美・中川 堯嗣・西田 裕・服部 正志・前田 泰弘
松葉 淳子・松本 アキム・宮城 仁・吉永 いち

◆◆Special thanks（順不同・敬称略）◆◆

堤町集会所・山本高校同窓会・山本北郵便局
武田 靖子・前田 泰弘（表紙画）
他、たくさんの方々。

問合せ：八尾市 建築都市部 都市計画課（TEL.072-924-3850）

発行：八尾市まちづくり教室 2009年3月